

## 第5回下山地域会議 会議録

【日 時】平成18年3月24日(金) 18:30～21:10

【場 所】下山支所2階大会議室

【出席者】委員12名(欠席4名)

商業観光課職員 3名

自治振興課職員 1名

事務局 支所長 酒井 川合

【次第】1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 前回会議録の承認

5 協議事項

豊田市観光基本計画の諮問について

6 その他

・ 委員と地域行事について

・ 地域会議の進め方の方法について

7 閉会

---

【内 容】

1 会長あいさつ

今日は、豊田市の観光基本計画についての意見徴収ということで、意見を求められていますので、皆さんからの忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

2 会議録署名委員氏名

川合委員を指名

3 前回会議録の承認

委員承認

4 協議事項

(会長) 本日は、豊田市の観光基本計画に関する意見徴収ということで、豊田市産業部商業観光課の方が見えていますので説明をよろしくお願いします。

商業観光課趣旨及び概要説明

(委員) 計画策定委員会やアンケート調査・ワークショップを行い下山の方針を決めたとなっておりますが、どういう方がワークショップにかかわってきたのか教えてください。

(商業観光課) 計画策定委員会は、総勢19名で構成され、下山地区においては、観光協会の方に参加していただいています。ワークショップについては、地域の経済や観光関係の方を中心に、下山地区は17名で構成されています。アンケートは、三河湖等の観光スポットや宿泊施設等で

- 行い、インターネットでの調査を含め4種類のアンケートを行いました。
- (会長) 策定委員会が3回開催され、下山地区のワークショップが2回開催されています。私も商工会の関係で携わり今回の中間報告としてまとめられています。
- (委員) 今まである既存の観光施設を活かしていくのか、まったく新しい観光施策を行っていくのか伺います。
- (商業観光課) 基本的には、今ある資源を最大限に生かしていく考えであります。
- (委員) 下山地区は、地区全体を「香恋の里」と位置づけていますが、香恋の館周辺を「香恋の里」と理解してみえる方が多く、下山地区全体を「香恋の里」と十分に理解されていないように思います。
- (委員) 今までは、香恋の里をイメージして下山地区全域の道路沿線に香りのある花や木を植栽してきました。
- (委員) 羽布ダムはダム湖百選に選ばれました。三河湖を下山の観光の拠点にしようとしているわけですが、作手地区より観光バスが入れるように、東の玄関口としたいと考えています。
- (委員) 下山の観光推進の目標(案)に、3つの柱があります。その中で、一番期待したいところは、「田舎暮らしが満喫できる里」であります。
- (委員) 下山地区は立地条件がよくなく、流動的な観光人口が多いので、週末機能住宅とか空き農家を利用したグリーンツーリズムみたいなものを生かしていったらと思います。
- (委員) 下山地区にはいろいろなスポットがあるということで、観光客の人は下山地区を面的に捕らえているのではないかと思います。
- (委員) 下山地区は、観光に農業と林業を融合した推進を図ることが理想であると思います。
- (商業観光課) アンケート結果をみますと、観光客のうち日帰り客が93%でありました。
- (委員) 滞在型でなくても、一日楽しめるようなことを考えないといけないと思います。他地区と、タイアップし各イベント等を広域的にPRしてはと思います。
- (委員) 観光客の情報収集は、口コミとか、雑誌やテレビで見たということをよく聞きます。またこれからは、インターネット等の情報の充実が大切になってくると思います。また、リピーターに対して効果があるという意味で、クーポンが付いたメールマガジンを配信するという一方で、来るきっかけを与えてあげる。これを下山地区全体で行うことで、下山地区の各地を回っていただき、下山地区の良さを知っていただけたらと思います。クーポンについては、効果があるという統計が出ています。情報だけ与えてもなかなか来てもらえないので、何か得点がないと来てもらえませんので、香恋の里をそういった形でPRしてはどうかと思います。
- (委員) 子供が遊べる場所があれば一日滞在していただけたらと思います。
- (委員) 学校の授業で下山地区を利用していただけるような場所があるといいと思います。
- (会長) 下山地区には、ダム湖百選で選ばれた三河湖があります。それをメインにして、下山地区を考えていかないといけないと思います。しかし三河湖だけが中心ではありません。下山全体を「香恋の里」と位置づけることが大切だと思います。「香恋」という名前をつけたいきさつが、下山のヒノキ・ササユリなどの香りをイメージして命名しましたので、今後もそのことを見据えてPRしていきたいです。
- (委員) 田舎の古い農家住宅がだんだん取り壊され、新しい住宅になっていくので、田舎住宅の再生ができないかと思います。
- (事務局) 平成8年に下山地区全体を香恋の里でPRしようということで香恋の里をたちあげました。各種イベントを催すにも名称に香恋の里をつけました。皆が香恋の里を共通認識しPRをし、

皆で「香恋の里」をつくり上げていくことが大切だと思います。

(商業観光課)今日は貴重な意見をいただき、また真摯に取り組んでいただき本当にありがとうございました。

## 5. その他

(1) 委員と地域行事について

(2) 地域会議の進め方と方法について

(事務局)地域会議設立よりファシリテーターにより会議を進行してきましたが、4月から新年度に入ります。ファシリテーターを採用して実施していく方法と、皆さんの主体性をもって独自に会議を行っていく方法がありますが、どちらの方法で実施していくか検討していただきたいと思います。

(会長)今まで続けてきましたので、最終的な結論を絞り込むところまでは今までどおりファシリテーターにお願いしたいと思います。